

神奈川県知事選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

「誰一人とりのこさない」「誰のこどももこころさせない」

みなさん、ご存知ですか？

神奈川県は… **県民に冷たい現知事**

中学校給食実施率 ▶ 全国47位 市町村への給食施設補助を実施せず	一人あたりの老人福祉費 ▶ 全国45位
一人あたりの教育費 ▶ 全国47位 少人数学級への県独自の予算なし(全国42の都道府県では独自予算)	中小企業対策としての雇工費 ▶ 全国46位 大企業には優遇(10億円(総額) 日産自動車に104億円、武田薬品75億円)
子どもの医療費助成 就学前まで 東京~15歳年度末まで 静岡~18歳年度末まで 現知事「(小児医療費助成の)補助対象年齢の引き上げは考えていない」	現知事は消費税増税を容認 消費税の引き上げは必要不可欠

沖縄に次ぐ米軍基地集積 現知事は消費増税を容認 渉外知事会の会長だが米軍基地を容認

かながわReBorn 検索

- ReBorn I 子どもたちのために**
- 小児医療費助成制度の対象を18歳まで拡大、医療費の無料化へ
 - 待機児解消をめざし、保育所整備3か年計画作成・推進
 - すべての中学校で完全給食実現
 - 35人以下学級の実現に向け、県独自の予算措置
 - 新生児に「赤ちゃんボックス」をプレゼント
- ReBorn II 未来に希望の持てる神奈川を**
- 消費税10%への増税には反対
 - 公契約条例の制定と中小企業支援で、最低賃金1500円実現を強力サポート
 - カジノ反対、全国最低水準の中小企業向け予算を拡充し支援・育成
 - 被災してからでは遅い。予算を増やし防災対策のスピードを大幅アップ
 - 時代遅れの原発・石炭火力NO、自然エネルギー利用の地域発電を支援
- ReBorn III 誰もが尊重される神奈川を**
- 国民健康保険の家族数加算(均等割)や後期高齢者医療の特例軽減廃止による負担増に対する県独自の負担軽減実施
 - 待機児解消めざし、特別養護老人ホーム増設
 - ジェンダー平等の実現、障がい者、LGBTはじめ、誰もが尊重され自分らしく生きられるよう全力支援
- ReBorn IV 誰のこどももこころさせない**
- 県民の命を守る立場から、安倍政権による9条改憲NO
 - 世界と連帯し、核兵器廃絶と憲法に基づく平和の実現
 - 米軍基地の撤去、空母の母港化拒否を国に求め、平和都市への転換を

今、安倍政権は、憲法9条を変えようとしています。戦争する国にだけはしたくないと、「9条の会」や「市民連合」に闘ってまいりました。

県は、憲法に基づき、県民のいのちを守る立場から国と対峙し、盾になることができません。また、暮らしと戦争は地続きです。税金を軍事費に使えば、社会保障は削られていきます。むしろ医療費・教育費の無償化を進めるべきです。国政があまりにもひどいからこそ、右にならなくては、自治体の一番の仕事、住民の福祉と教育を充実させ、神奈川をReBornする時です。

政治は特別な人のものではありません。私たちが主権者です。多くの人が行動を起こせば、願う政治に変えることができます。

「みんなで未来を決めていく」

神奈川にReBorn!

プロフィール

1956年、神奈川県海原町生まれ。武蔵野美術大学卒業。箱根町立仙石原中学校で教師経験。富山県越後の山小屋で4年間働く。結婚し、横須賀に移住。文化を通しての地域の子育て運動にかかわる。「横須賀市民9条の会」を結成。2013年には横須賀市長選に立候補。現在、庭のメンテナンスと染めの仕事に従事し、家族は夫と子ども3人と孫と犬と小鳥。



岸牧子 きしまきこ

無所属
よこすかみづの市民連合推せん
日本共産党推せん

いのち輝くマグネット神奈川

**コミュニティ再生で
笑いあふれる
100歳時代**

「いのち輝く神奈川」の具体化の鍵は「笑い」と「コミュニティ再生」。

未病改善で健康長寿のためには誰も孤立させない、充実したコミュニティが必要です。

黒岩流の県政

- ◆ **こだわる「いのち」・「マグネット」**
 - 県立がんセンター重粒子線治療停止の危機を克服
 - 「セレクト神奈川100」で企業誘致目標100社達成
- ◆ **圧倒的な発信力・スピード感**
 - 「未病(ME-BYO)」が政府の「健康・医療戦略」に
 - 国に先駆け「私立高校等授業料の実質無償化」
- ◆ **ダントツの先進性**
 - 県発案「地域限定保育士試験」で国の制度変更
 - SDGs最先進自治体として都道府県で唯一認定
- ◆ **徹底した県民目線**
 - 「対話の広場」で県民1万人と直接対話
 - 「なでこブランド」
 - 「女性の活躍応援団」で女性支援
- ◆ **戦うリーダー**
 - 「なばかり特区」発言で特区の規制緩和を一挙実現
 - 東京2020大会の費用負担問題で全面勝利

黒岩 祐治 3期目の新たな挑戦

未病改善・ヘルスケア政策

- ヘルスケアニューフロンティア政策のさらなる展開
- 認知症・糖尿病の未病改善の全県展開
- 120万人登録の「マイME-BYOカルテ」のさらなる質的向上
- 健康団地を営み、市町村と連携した地域コミュニティ活性化
- 4月開校のヘルスイノベーションスクールの充実
- 笑いを通じた心身の未病改善政策の推進
- 未病ハロー-BIOTOPIA来場者 年間70万人

産業活性化政策

- 3つの特区の活用で進める成長戦略のさらなる推進
- 新たな観光の核・インバウンドのさらなる充実
- 海外との戦略的互恵関係の形成
- 企業誘致200社(県内再投資を含む)
- マグカルのさらなる展開
- 企業経営の未病CHECKシートなどで中小企業支援

医療・福祉・こども・共生政策

- 県立病院を核にした県民のための医療情報ネットワークの構築
- 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知率50%へ
- 津久井やまゆり園事件を契りこえ福祉先進県No.1へ
- 貧困、虐待など支援を必要とするこどもを守る体制作り
- 待機児童数ゼロへ
- ペットのいのちも輝く神奈川 犬猫殺処分ゼロの継続

安全・安心政策

- ラグビーWC、東京2020大会の円滑な実施に向けて
- SNS等を活用したDV、いじめ対策などの一層の推進
- ビッグレスキューの進化、シェイクアウト訓練参加者200万人の拡大

未来創造政策

- SDGs最先進自治体として全国をリード
- 「かながわプラごみゼロ宣言」の具体的展開
- スマートモビリティ社会など未来社会創造を牽引
- キャッシュレス都市かながわのさらなる推進
- CDO(最高データ責任者)でビッグデータ活用の神奈川モデルを

プロフィール

昭和29年生まれ 64歳
早稲田大学政治経済学部卒業。
フジテレビジョンで「FNNスーパータイム」
「(新)報道2001」のキャスターを務める。
救急救命士誕生に結びつくキャンペーン
報道で放送文化基金賞などを受賞。
平成23年4月神奈川県知事に就任。
現在二任期。

黒岩 祐治 ゆうじ 祐治

詳しくはホームページに記載されている政策集をご参照ください

検索



黒岩 祐治

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

子どもの育ちを社会で支える

- ・待機児童対策・保育人材の確保を進めます
- ・児童虐待防止の早期対応を図ります

守り・つなぐ環境

- ・神奈川の公営水道事業を守ります
- ・脱原発に向けて自然エネルギーを推進します
- ・斜面緑地の適正管理を進めます

豊かな福祉を地域から

- ・高齢者・障がい者の在宅生活を支えます
- ・認知症の人と家族を支える施策を充実させます
- ・働きたい全ての人に就業支援を行います

命を守る防災

- ・津波減災対策を推進します
- ・県、市連携により土砂災害を防止します

政治改革・議会改革

- ・行政等の意思決定の場に女性を増やします
- ・新たな地方議員の年金制度に反対します

未来につなぐ働き・暮らし



神奈川ネットワーク運動

三宅まさり



●応援します

- 新藤宗幸 (千葉大学名誉教授)
- 杉田敦 (法政大学法学部教授)
- 坪野寛 (早稲田大学名誉教授)
- 保坂れい子 (鎌倉市議会議員)
- あだちなほ (鎌倉市議会議員)

- プロフィール
1957 大垣市生まれ
皇学館大学卒
法政女子高校勤務
生活クラブ鎌倉 commons 運営委員
大船高校 PTA 広報委員
鎌倉市議会議員 (2期)
◇家族: 夫、2人の息子1人独立 ◇岩瀬在住



立憲民主党

「命を守る防災」に取り組む!

- 防災・環境整備 不動産のプロとして
 - 地震・津波・崖地対策
 - 水道民営化反対
 - 原発ゼロと自然エネルギーの促進
 - 海洋プラゴミゼロ
 - 種子条例の制定

行政運営改善・福祉 行政書士として

- 児童虐待ゼロ～児童相談所の拡充・連携強化
- 高齢者、障がい者、子育て世帯等の安心住宅の支援
- 障がい者への支援拡充
- 低未利用な公共施設のムダを見直して有効活用

教育・子育て・豊かな暮らしづくり 小中学生の父として

- 働くママを応援するマザーズジョブカフェの創設
- 小・中全学年の少人数学級の実施
- 小学英語の専門指導員の増員による英語教育の充実
- 再開発や企業誘致による定住促進・雇用機会の充実
- 広域で取り組む渋滞対策

●経歴●

- 昭和46年横浜市生まれ
- 鎌倉市議会議員(2期目)
- 希望ヶ丘高、亜細亜大学法学部卒
- 衆議院議員秘書などを経て鎌倉市議
- 早稲田ゆき後援会幹事
- 特定行政書士、マンション管理士、宅建士
- NPO法人鎌倉成年見直しセンター理事
- 妻と子3人の5人家族
- 高校ではラグビー部 ●空手道場「尚武館」茶房
- 深沢小(PTA)フットボール所属
- ソフトボールチームMSC所属
- 常盤共栄会理事 ●常盤八雲会特別会員



●私も応援します●

- 鎌倉市議会議員
千登忠
- 鎌倉人力車 有馬亭
青木登忠
- 鎌倉市議会議員
飯島渡辺 たかし
- 前鎌倉市議会議員
岡田 かずのり
- 衆議院議員
早稲田 ゆき



飯野まさたけ

立憲民主党公認

県民不在の県議会 本気で改革します!

県政に今、必要な

5大政策。

- ⑤ 五輪よりも県民の生活を守ります。
- ④ 文化財保護政策を進めます。
- ③ 立体交差を実現します。
- ② 政務活動費不正をとめます。
- ① 市役所移転を絶対やめさせます。

<http://k-iwata.main.jp>

岩田かおるのプロフィール

1952年東京生まれ。1971年からフリージャーナリストとして活躍。1991年、軽井沢町議に当選。全国の市民派議員に呼び掛け、「環境問題地方議員連盟」を結成。現在、「全国環境保護連盟」代表、鎌倉市まち美化推進員、山王台自治会会長、「ごみ減量をすすめる会」副代表、鎌倉市青少年指導員連絡協議会鎌倉地区長、「市役所移転を問う住民投票の会」共同代表。



新党鎌倉 岩田かおる

神奈川県議会議員の給料は、全国第2位の高額。一人あたりに毎月支給される政務活動費も、全国第3位の多さです。私はこれらの支出を大幅削減し、県の財政の健全化に努めます。私は不正と4年間闘ってきました。圧力には負けません。

鎌倉の未来へ 5つのビジョン

- 1. 様々な形の「働く」のために**
 - ・神奈川県ネットワーク・制度を活用し、鎌倉に雇用を生み出します
 - ・女性就労に関する問題解決に取り組みます
- 2. 健康長寿のまちになるために**
 - ・神奈川県の特長ノウハウとビッグデータを活用し、未病対策促進と健康寿命の延伸、市内企業の健康経営促進に取り組みます
 - ・深沢のまちに最先端企業・研究教育機関の集積を図り、市民の健康づくりの拠点整備に取り組みます
- 3. 子どもを産み、育てたいまちになるために**
 - ・産前産後ケアの充実、待機児童対策、子育て予算のさらなる確保教育環境(学校設備・学童・特別支援学級)の充実など、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます
- 4. 市民の安全安心・鎌倉の環境を守るために**
 - ・海岸の環境と鎌倉の緑を守ります
 - ・神奈川県と連携し、道路整備や渋滞解消に取り組みます
 - ・県管轄である緊急輸送道路の整備、河川の浸水対策を進め広域で災害対策に取り組みます
- 5. 未来へ**
 - ・神奈川県との連携により、鎌倉市を電子自治体のモデルに
 - ・高齢者・障がい者福祉の充実、LGBT・外国人等のマイノリティ支援に積極的に取り組みます

永田まりな プロフィール Profile

1983年2月 鎌倉生まれ(七里ガ浜在住)
 聖路加幼稚園、七里ガ浜小、北鎌倉女子学園中、鎌倉高校卒
 2004ミス鎌倉 2006年私立フェリス学院大学卒業
 2006年～2012年 アナウンサーとして活動
 2013年4月 鎌倉市議会議員 初当選、2017年4月 同2期当選
 総務常任委員長、予算等審査特別委員長、広報委員会副委員長など
 現在 湘南獣医師会顧問



永田まりな

自民党公認
36歳